

電機連合富山地協 第56回定期大会 報告

9月18日(金)ボルファートとやまにおいて、電機連合富山地協第56回定期大会を開催しました。来賓として電機連合本部の溝上中央執行委員よりお祝いの言葉を頂戴し、連合富山の宮崎会長、北陸労金の浜守副理事長、こくみん共済の山道事務局長、国民民主党富山県連代表の庭田参議院議員、歴代役員懇談会の藤畑会長からご挨拶を頂きました。続いて「経過報告」、「2025年度決算」「2026・2027年度運動方針」、「2026年度予算」、「2026・2027年度役員の選出」、「外部役員顧問の委嘱」、「役員表彰」について執行部から提案され、満場一致で可決承認されました。

(報告・議案事項は、以下の通り)

【経過報告】2025年度一般経過報告

2025年度会計報告および会計監査報告

- 【議事】
- 第1号議案 2026・2027年度運動方針に関する件
 - 第2号議案 2026年度予算に関する件
 - 第3号議案 2026年・2027年度役員選出に関する件
 - 第4号議案 外部役員顧問の委嘱に関する件
 - 第5号議案 役員の表彰に関する件

電機連合富山地協 2026年度役員体制

議長	浦島 成友	北陸電機製造労働組合
副議長	平 祐樹	KOKUSAI ELECTRIC労働組合・・・新
	横田 雄治	T P S U 魚津支部
	飯川 英明	T P S U 砺波支部・・・新
	大崎 大輝	北陸電気工業労働組合
	中尾 亮介	コーセル労働組合・・・新
事務局長	後藤 肇	コーセル労働組合・・・新
常任幹事	太田 厳之	KOKUSAI ELECTRIC労働組合・・・新
	石脇 達也	T P S U 魚津支部
	竹原 深	T P S U 砺波支部・・・新
	福島 崇介	北陸電気工業労働組合・・・新
	平野 泰成	コーセル労働組合
	森田 弘樹	北陸電機製造労働組合・・・新
	林 大祐	パナソニック・スリー労働組合富山支部・・・新
	金山 仁美	富士電機パワーセミコンダクタ労働組合北陸支部
	高田 憲利	アットフィールド・テクノロジー労働組合
	百瀬 賢博	国際電気セミコンダクターサービス労働組合
	船橋 隆介	S M K 労働組合富山支部・・・新
	四十川 純一	富士電機労働組合本社支部北陸分会・・・新
	高島 康輔	A W S 労働組合・・・新
会計監査	竹田 隆悟	S M K 労働組合富山支部・・・新
	宮越 睦	北陸電気工業労働組合・・・新

【議長団の皆さん】



【T P S U 魚津支部 今井代議員(左)】
【北陸電機製造労働組合 森田代議員(右)】

【来賓の皆さん】



電機連合本部 連合富山 北陸ろうきん
【溝上中央執行委員】 【宮崎会長】 【浜守副理事長】



こくみん共済 coop 国民民主党富山県連 富山地協歴代役員懇談会
【山道事務局長】 【庭田参議院議員】 【藤畑会長】

【役員表彰の皆さん】

	氏名	役職名	所属組合
功 労 表 彰	大森 仁	議長 (6年) 副議長 (2年) 事務局長 (4年)	T P S U 魚津支部
	川瀬 浩	副議長 (6年) 常任幹事 (4年)	T P S U 砺波支部
	古谷 将吾	常任幹事 (6年)	北陸電気工業労働組合
	村上 裕幸	常任幹事 (6年)	AWS労働組合
	山口 亮	常任幹事 (2年) 会計監査 (3年)	KOKUSAI ELECTRIC労働組合
勤 続 表 彰	川瀬 浩	副議長 (6年) 常任幹事 (4年)	T P S U 砺波支部
	後藤 肇	副議長 (10年)	コーセル労働組合

【2026年度富山地協役員の皆さん】



【退任された役員】

前副議長	川瀬 浩	(ｸｰﾊﾟｰﾎｰﾅｰｽﾞﾍﾞﾐﾝｸﾞｸﾀｰ労働組合砺波支部)
前事務局長	大森 仁	(ｸｰﾊﾟｰﾎｰﾅｰｽﾞﾍﾞﾐﾝｸﾞｸﾀｰ労働組合魚津支部)
前常任幹事	古谷 将吾	(北陸電気工業労働組合)
"	山口 亮	(KOKUSAI ELECTRIC労働組合)
"	安田 幸弘	(北陸電機製造労働組合)
"	小池 靖	(パナソニックインダストリー労働組合富山支部)
"	村上 裕幸	(AWS労働組合)
会計監査	山本 尚人	(北陸電気工業労働組合)



【勤続・功勞表彰：川瀬さん】



【勤続表彰：後藤さん】



【安田さん】



【小池さん】



【功勞表彰：古谷さん】



【功勞表彰：大森さん】

議長挨拶 (要旨)

議長 浦島 成友

はじめに

電機連合富山地方協議会 第56回定期大会の開会にあたり、主催者を代表して、一言ご挨拶を申し上げます。

本日は大変ご多用の中、たくさんのご来賓の皆様にご臨席を賜りました。

電機連合本部中央執行委員の溝上様、連合富山会長の宮崎様、北陸労働金庫副理事長の浜守様、こくみん共済coop富山推進本部事務局長の山道様、国民民主党富山県連代表、参議院議員の庭田ゆきえ様、富山地協歴代役員会長の藤畑様心より御礼を申し上げます。後ほどご挨拶を賜りたいと存じます。また、各加盟組合からご参集いただきました代議員の皆様、そして日頃から富山地協の活動を支援いただいております組合役員、組合員の皆様に、改めて感謝を申し上げます。



今年も、令和8年熊本地震をはじめ、千葉豪雨など、全国各地で大きな自然災害が発生しました。また、当地・氷見を含め、各地で大雨による被害も発生しております。さらに、令和6年能登半島地震や、その後の豪雨災害からの復旧・復興も、いまだ道半ばにあります。これまでの災害によって尊い命を失われたすべての皆様に、謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様、そして今なお復旧・復興に向けて歩みを続けておられる皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。一日も早く、安心した日常生活を取り戻されることを、心から願っております。こうした災害を目の当たりにするたびに、日頃からの備えはもちろんのこと、地域や職場における「人と人とのつながり」、そして困ったときにお互いに支え合うことの大切さを、改めて認識させられます。こうした「つながり」と「支え合い」を大切にしていくことも、私たち労働組合に求められる重要な役割の一つであると考えています。



さて、私たちを取り巻く経済・社会情勢に目を向けますと、非常に大きな変化の中にあります。物価上昇が続き、食料品やエネルギーをはじめ、私たちの暮らしに欠かせないさまざまなものの価格が上昇しています。企業においても、原材料費やエネルギーコスト、人件費などの上昇に加え、世界経済や国際情勢の変化など、先行きを見通すことが難しい経営環境が続いています。こうした状況だからこそ、私たち労働組合には、組合員の生活を守ることはもちろん、企業の持続的な成長と働く者の生活向上を、どのように両立させていくのかという役割が、これまで以上に求められていると考えます。その意味でも、大きな転換点となっているのが、近年の春季生活闘争、いわゆる春闘であります。長く続いたデフレの中では、「賃金はなかなか上がらない」ということが、ある意味では当たり前のようになっていました。

しかし、この数年間、労働組合が粘り強く賃上げを要求し、労使で真摯な交渉を積み重ねてきた結果、日本社会全体で賃上げに対する認識は大きく変化してきました。26年闘争においても、連合の最終集計では、定期昇給相当分を含む賃上げ率が5.01%となり、3年連続で5%台となりました。これは、これまで各職場で交渉を積み重ねてきた労働組合の取り組みの成果であると考えています。しかし、私たちが目指すべきものは、単に「何%上がった」という数字だけではありません。物価上昇を上回る継続的な賃金改善を実現し、組合員一人ひとりが「生活が良くなった」「将来に希望が持てる」と実感できることが重要であります。賃上げを一時的なものに終わらせるのではなく、持続的なものとして定着させる。これからの春季生活闘争における大きな使命であると考えています。

議長挨拶（要旨）

議長 浦島 成友

そして、もう一つ大きな課題が、深刻化する労働力不足です。少子高齢化、人口減少が進む中、製造業をはじめ、さまざまな産業で人材確保が難しくなっています。厚生労働省が公表した2026年7月の全国の有効求人倍率は1.18倍となっており、人材を求める企業が多い状況が続いています。富山県においても、労働力人口の減少は、企業にとっても地域社会にとっても極めて重要な課題であります。だからこそ企業には、「人への投資」を一層進めていくことが求められます。賃金を引き上げること、働きやすい職場環境を整備すること、育児や介護と仕事を両立できる制度を充実させること、そして、多様な人材が能力を発揮し、一人ひとりが成長を実感できる職場をつくることです。これらは単なる処遇改善や福利厚生ではなく、これから企業が成長していくための重要な経営課題でもあります。

私たち労働組合も、DXやAIなど新しい技術を活用した生産性向上を追求し、それを働く者の負担軽減や働きがいの向上につなげていく視点を持ちながら、労使で議論を深めていく必要があります。一方で、職場の労使交渉だけでは解決できない問題も数多くあります。税制、社会保障、子育て・教育、介護、雇用、最低賃金、エネルギー政策、産業政策、地域交通など、私たちの暮らしや職場に直結する多くの課題は、政治や行政によって制度が決められています。だからこそ、労働組合が政策・制度の取り組みを進めることには大きな意味があります。国政においても、物価高への対応、税・社会保障、エネルギー政策など、働く者の暮らしや、私たち電機産業の将来に直結する重要な議論が続いています。そして来年には、統一地方選挙を迎えます。地方政治は、決して私たちから遠いものではありません。子育て、教育、福祉、防災、公共交通、地域産業の振興など、私たちの生活そのものに関わる政策が、県や市町村で決められています。私たち電機連合富山地方協議会としても、働く者、生活者の立場から政策・制度要求を積み重ね、その声を国政、県政、市町村政へ届けていく取り組みを、引き続き進めていかなければならないと考えています。そして、組合員の皆さんにも、ぜひ政治を「自分たちには関係のないもの」と考えるのではなく、自分たちの仕事や暮らし、そして子どもたちの未来にも関わる身近なものとして、関心を持っていただきたいと思います。



さて、本日の第56回定期大会では、新年度の運動方針をご審議いただくとともに、役員体制についても新たなスタートを切ることとなります。この大会をもって退任される役員の皆様には、これまで富山地協の活動を支え、発展させていただきまことに、議長として心から感謝を申し上げます。それぞれ本来の職場、単組での役割を担いながら、富山地協の活動にも多くの時間と力を割いていただきました。皆様が積み重ねてこられた活動があったからこそ、今日の富山地協があります。とりわけ、大森様、川瀬様には、10年以上の長きにわたり富山地協の活動を支えていただきました。本当にありがとうございました。退任後も、それぞれのお立場から電機連合、そして富山地協の活動を見守り、引き続きお力添えをいただければ幸いです。

また、新たに役員を担っていただく皆様には、ぜひ力を合わせ、新しい時代にふさわしい富山地協を一緒につくっていただきたいと思います。今期より、KOKUSAI ELECTRIC労組の平委員長に、副議長の任に就いていただきます。皆様ご存じのとおり、KOKUSAI ELECTRIC労組は大きな組織であり、労働条件についても高い水準にあります。これまでの経験と力を生かしていただき、富山地協の新たな推進力となっていただくことを大いに期待しております。労働組合を取り巻く環境は、大きく変化しています。働き方も、組合員の価値観も多様化しています。賃金・労働条件の向上はもちろん、政策・制度要求、ジェンダー平等、次世代組合役員の育成など、取り組むべき課題は数多くあります。そして、その一つひとつを実現していくために、何より大切なのは、加盟組合の皆様との「つながり」であります。単組だけでは解決できない課題を共有し、知恵を出し合い、解決を模索する。また、産別につなぎ、地域につなぎ、そして社会につなげていく。そこに、電機連合地方協議会の存在意義があるものと考えています。

本日の大会が、これから私たちがどのような富山地協をつくっていくのか、そして働く仲間のために何をしていくのかを、皆さんで考える有意義な大会となりますことを願っております。

代議員の皆様には、ぜひ忌憚のないご意見をいただき、真摯で活発なご討議をお願い申し上げます。

以上、第56回定期大会の開会にあたり、主催者を代表してのご挨拶とさせていただきます。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。



青年・女性委員会「合同つどい」開催

「合同つどい」初のロゲイニング交流会開催！

青年委員会 委員長 高島 涼介

今回の青年・女性委員会「合同つどい」は、10月3日（土）にロゲイニング交流会を開催しました。9労組から総勢49名もの組合員の皆さまにご参加いただき、大変賑やかな交流会となりました。

ロゲイニングは、「令和版ウォークラリー」ともいわれ、市電やバス、徒歩などを使いながら、チームごとに設定されたミッション（写真撮影）をクリアして得点を競うスポーツゲームです。

スタート前には、初対面同士のメンバーも多い中、各チームに分かれて自己紹介や作戦会議を行いました。最初は少し緊張した様子も見られましたが、すぐに打ち解け、和やかな雰囲気の中で競技がスタート。それぞれのチームが作戦を練りながら目的地を目指し、制限時間いっぱいまでミッションに挑戦しました。

競技中は、各チームが工夫を凝らしながら市内を巡り、チームワークを発揮して次々とミッションをクリア。和気あいあいとした雰囲気の中で、得点を競う真剣な表情が見られ、大いに盛り上がりました。

ゲーム終了後には懇親会を開催し、チーム賞の表彰式を実施しました。上位入賞チームには豪華景品が贈られ、受賞者の喜びの笑顔とともに、会場は温かい拍手に包まれました。さらに、ビンゴゲームやフリー交流の時間も設けられ、世代や所属労組の垣根を越えて語り合う姿があちこちで見られました。終始、笑顔と笑い声があふれ、参加者同士の交流を深める楽しいひとときとなりました。

今回の「合同つどい」を通じて、参加者同士の親睦がより一層深まり、青年・女性委員会として大切にしている「横のつながり」を実感できる有意義な機会となりました。

今後も、組合員の皆さんが気軽に参加でき、楽しみながら交流を広げられる活動を企画してまいります。多くの方のご参加をお待ちしています。



✧ 仲良し賞 ✧

✧ 面白賞 ✧



✧ 団体賞 ✧
【優勝】 7班

✧ 団体賞 ✧
【準優勝】 2班

✧ 団体賞・特別賞 ✧
【三位】 6班

✧ 団体賞 ✧
【ブービー】 5班



第70回

リレーコラム

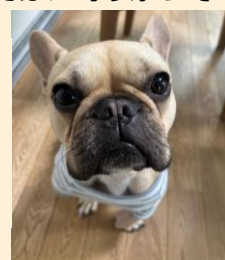
私のお気に入り

KOKUSAI ELECTRIC労働組合 平 祐樹

私のお気に入りは、「休日中の過ごし方」です。平日は、仕事や組合活動で疲弊しているため休日は、好きなことを充実させることに注力しています。まずは、愛犬とゆっくり過ごします。朝の散歩で一緒に体を起こし、家の中で一緒に横になり、日ごろの疲れが自然とほぐれていきます。愛犬の無邪気な表情やそばに寄り添ってくれる姿に癒やされる時間は、私にとって大切なひとときです。

また、体を動かすことが好きなので、基本はサッカーの審判活動をして体を動かしていますが、審判がない日はジムやランニングで体を動かしています。走って疲れた体は、最後にサウナでじっくり整えダメ押しでキンキンに冷えたジュースかビールで終了です。心地よい疲労感と爽快感を味わいながら、心身ともにリフレッシュできる、私のお気に入りの休日の過ごし方です。

次のリレーコラムは、SMK労働組合富山支部の船橋執行委員長をお願いします。



電機連合 富山地協ホームページ

<https://www.jei-u.jp/toyama/>

URLを直接入力、または
「電機連合富山地協」と検索

電機連合富山地協

Q 検索

編集後記

今回、退任となりました。4年間に難うございました。引き続き、構成組織の皆さんに少しでも興味を持っていただける記事を提供できるように頑張ってください。（大森）